

社会資本総合整備計画(第2回変更)

都心と歴史文化ゾーンが調和した交流と学びの拠点の創生

平成 30 年 3 月

兵庫県 尼崎市

社会資本総合整備計画

平成30年3月23日

計画の名称	都心と歴史文化ゾーンが調和した交流と学びの拠点の創生								重点計画の該当								
計画の期間	平成28年度 - 平成32年度 (5年間)		交付対象	尼崎市													
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎の歴史文化について市内外の方が学習できる拠点として既存公共建築物を活用した歴史館機能を整備し、散在する地域資源の魅力発信と併せて交流人口の増を目指す ・ 都心の低未利用地及び既存公共建築物を活用することで、都市拠点としての機能強化とまちなかの再生を目指す ・ 歴史文化という新たな都市イメージを付加することで、市民のまちに対する誇りや愛着の醸成を目指す ・ 交流人口の周遊性を高め、地域経済活動の活性化を目指す 																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史館機能の来場者数を16,116人から40,000人まで増やす ・ 尼崎の歴史に関心を持っている市民の割合を21%増やす ・ 低未利用地を城址公園として整備し、城址公園の利用者数15万人を目指す ・ 地区の価値上昇の指標として地区の中心地である阪神尼崎駅周辺の地価の上昇を目指す ・ 地区内の商店空き店舗数の増加傾向を抑制する 																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
				当現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)											
歴史館機能の年間延べ来場者数を調べる。				16,116人	-	40,000人											
市民意識調査において、「尼崎の歴史に関心を持っている」と回答した市民の割合を調べる				56%	68%	77%											
都心の低未利用地を活用して、市民が憩える空間を整備し、城址公園の利用者数の増加を目指す				-	-	150,000人											
地区の価値上昇の指標として、地区の中心地である阪神尼崎駅周辺の地価の上昇を目指す				372,000円/㎡	-	390,000円/㎡											
地区内の空き店舗数の増加数を計画最終年度に0軒/年とする				2軒/年	-	0軒/年											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,907百万円	A	2,590百万円	B	0百万円	C	317百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	10.90%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	尼崎市	直接	尼崎市	阪神尼崎駅周辺地区都市再生整備計画事業	博物館の整備他	尼崎市	H28	H29	H30	H31	H32	2,590			
									合計					2,590			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									合計					0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
C-1	活動支援	一般	尼崎市	直接	尼崎市	誘導サイン基本計画策定事業	誘導サイン基本計画策定(ワークショップ 4回開催)	尼崎市						5			
C-2	活動支援	一般	尼崎市	直接	尼崎市	事業活用分析調査	都市再生整備計画の事業効果分析調査	尼崎市						2			
C-3	施設整備	一般	尼崎市	直接	尼崎市	城址公園内に整備する尼崎城の内部活用事業	尼崎城内部の展示等整備	尼崎市						201			
C-4	活動支援	一般	尼崎市	直接	尼崎市	観光地域づくり推進事業	観光地域づくりの推進	尼崎市						109			
									合計					317			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C-1	歴史や文化、様々な地域資源の魅力を伝え、周遊を促す案内板を作成、設置するにあたり、サイン基本計画策定を通して市民の視点を積極的に取り入れるためワークショップを実施し、その検討内容を反映する。																
C-2	都市再生整備計画に基づく各事業を客観的に検証し、事業の成果を市民に分かりやすく周知する資料を作成するとともに、引き続きまちづくりを効果的に推進していくための方策検討を行う。																
C-3	観光客に面白くわかりやすい楽しみ味わえる展示を提供し、住民に地域の学びの機会を提供する。城址公園と連携したイベントの実施などを通して周辺地区一帯の魅力を高める。																
C-4	コンテンツの開発を担う民間事業者や地域資源をつなげるコーディネートやプラットフォームの運営、マーケティングの実施などによる関係者が一体となった魅力ある地域づくりの支援・推進を実施する。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	171	159			
計画別流用 増減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	171	159			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	171	67			
翌年度繰越額 (f)	0	92			
うち未契約繰越額 (g)	0	13			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	8.2%			
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

(参考図面)

計画の名称	都心と歴史文化ゾーンが調和した交流と学びの拠点の創生		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	尼崎市

